磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

客觀的位置に自己を置き封建的習性を脱せ

輿論結集が先決問題

青年懇談會續報

合併回避により自主自立の線で先祖よりの鹿島村を存命したいということは、どのように利便な文化住宅があっても先祖からこの家根の下で暮したから爐煙にむせてもとの一部屋の藁屋根で生活したいという論理にちかく、或いはどのような文化的電氣調理室が出来ても前から使っていたから、この壊れた七輪と火吹き竹を使用するという精神の現われで、一般常識で欠点と見える爐煙や、火吹き竹自体が却って一つの愛着心を形づくっている、このような現象は耕地に至って極限に達し、例えば農作物の一切が空中から生産される時代が來ても、容易に耕地への執着を断ち得ないであろう

こうした封建的觀念は單に農村に止どまらず、文化の恩惠に遠い世界ほど強く、特に單一農村に至ってはすでに牢固たる性格を形成し生活上の根強い信念となっている、慣性に基ずく低徊趣味のたわいないいたずらと氣ずく迄には相当の期間がかかり、早期に是を知るには卓越した知性と客觀的位置に自己を置くの外はない

さて軌道を脱したのでテープレコードを使用しよう

佐藤副団長　何故合併せねばならないかということと共に財政難の問題や、平衡交附金のデコボコ等相當考えさせられる問題である

既合へい市が立證

主導的役割は青年

小泉（小名濱）さつき佐藤副團長が言った十年後を待つの氣持は青年層の合併問題に關する考え方の主流を爲しているのか

佐藤副団長　大体そのようです

永山（小名浜）　それでは鹿島では自立出來れば自立したいというのですか

佐藤副團長　そうです私個人の意見としては拗くともそう言えます、この間その問題を研究しようとしたら第一條に個人の自由を尊重して云々とありそれを見て一寸氣をよくしたですよ

小泉（小名浜）　この問題ばかりでなく鹿島議員の在り方をみていると大低二重人格が多いように見受けられる、だから直接に信頼出來ない点もある　何處の例を見ても本質的な決をするのは青年で飯野の場合も合併への道を開拓したのは明らかに青年と青年の純理を生きる精神で、究極において鹿島の場合も自主的に青年が主導的役割を果たさねば總てが進歩しない

箱崎（泰）　鹿島の場合歴史的必然性としての地方發展の過程を檢討しようとする氣持よりも風土的懷古趣味が、より大きく動いているように感ぜられ

佐藤副團長　そうです土地は生命であり、農民の意欲は名の消滅より遥かに大きいですね

小泉（小名浜）　合併してもある土地は、村という名が消えてもそれは鹿島の消滅となる性質のものではないのにね

鈴木（二長）　どうも鹿島側からの質問がもっと活発に行われないと主客轉倒の形で會合が無意味となる

才丸（小名浜）　村としての觀念を抜きにして個人としての質問だけでも幾らもあると思う

小泉（小名浜）　私たちは一時前から來て二時間も待っていたが鹿島の青年諸氏は港遊覧から先にした、遊覧が主だったのか、懇談會が主だったのか

馬上司會者　小泉さん一寸ストップ、どうも懇談が出発点に逆戻りしたようですね、出來るだけ自由な形で会談し、少々脱線しても青年のあるがままの形を捉えようとしたがこれでは少々軌道を外れ過ぎた、いやゲージが移動したのかも判らない、こゝらで保線工事をして鹿島の方から「合併以前」の現状で最も知りたいと思う当面の問題はどういうところです、箱崎さん

箱崎文化部長　合併してから分村騒ぎはやりたくないしその点合併については非常に愼重な態度が全般にとられ私自身またそういう点でむしろ悠長といわれる位ガッチリ擔へているのですが、最初に申しました点から合併と分村問題の体驗者に先づ合併前とその後の空氣といったような点を聞いてみたいですね

◉事務員募集
中卒以上の女子
町内居住者
希望者は学歴及身元
證明書御送付あれ
追て面會日通知す
長瀬印刷KK

分村など笑い草

當時を語る鈴木二長

馬上司会者　舊玉川出身の小泉さんか鈴木さんが体驗を語ってはどうか

鈴木（二長）　村民が知らぬ間に合併が決定していたという、今日から言えばまるでウソみたいな形式で私たちが知った時はすでに決っていた、私は勿論憤慨して反對の急先鋒となった、ところが当時砂糖の配給とか諸不足物資の配給が單一農村時代より遥に町制機構の中に入ってよくなったものだからだん／＼鳴りをしずめて來た、そこえ終戰となったのでまた從前即ち合併當時のシコリが残っており分村問題が起った

分村問題は今日笑い草の一つになっているが、現在では当時の確執とか、シコリなどの影さえなく完全に同一機構の中で同化して平等な政治的、經済的、或いは文化的により高度な恩惠にあることを満足している

まあ正反合の法則で究極は落つくところに落ち着きこうした經過を辿って人間社会が發展してゆくのでしょうが、私共の体驗が鹿島の場合一つの無駄を排して時間的に早くわれ／＼の線に到達出來る好個の資料であることは間違いないですね

佐藤副團長　部落にはおの／＼部落根生というものがあって然もそれが更に複雜な陰影を持っていろ、隣組の中でさえ派閥の軋レキがある状態で先ず斯うした点の解決手段として部落統一から始めなくては鹿島の場合いけないのじゃないかと思う

小泉（小名浜）

それは確かに理想ではある、然しそんなことをしていたんでは長い時間的な不經済を伴ういろいろな動機よりも結果という逆算的な方法で實態を掴むということがより早くこのような合併問題でも結実が早いという論理も實際的に成り立ち、私も今度の場合近くに舊玉川という試驗台もあり、北みれば飯野のモデルが開放されているので、結論として先進合併農村が實質上良結果にあり先ず合併後の不安というようなものは無用の長物ではないだろうか、故に早急合併して部落内の感情統一とか、隣組みの確執とかいったものは遂次解消していけるものであり放任していても「時」が解消してゆく無毒性のものもあると思う

十年後の鑛産税

鹿島が待つは大誤算

鈴木（二長）合併しても何等不安はない、と思うですね、大体鹿島は磐炭の鑛産税でどの位うるおいを持つ考へですか、また十年後の財政確立という線はどっから出たか佐藤さんに説明願います

この時佐藤副團長數字を失念したのか、發表の時期を考慮したのか深刻に一分間の思考表情があったのち

佐藤副團長　十年後の鹿島村に予想される鑛産税の余澤は大体千二百万円に想定されている

鈴木（二長）　それじゃテンで問題にならんですよ、小名浜は現在水素でけで二千萬円の固定資産税だからザット半額ですね然も鹿島の一千二百万円は十年後という相当長い將來のことであり尚かつその鑛産税も湯本は町であり鹿島は村である又湯本の特種財源である温泉を犯しているなどから、湯本と鹿島の鑛産税比率を同じく思ったらとんでもない誤算ですよ、おまけに十年後というおそろしく長い時間的ギャップをどう見ていますか

佐藤副團長の苦境に同志愛の手を伸べた鹿島側箱崎文化部長この時立って

十年後のことだから數字も明確に實は擧げられないのです

と佐藤氏をカバーする

鈴木（二長）　十年後の線を前提としての考へはどうかと思う

佐藤副團長　先般來村の小名浜都市計畫は五十年或いは百年計畫云々と云った　五十年は十年より丁度五倍長いですよ（笑聲）

鈴木（二長）　なんだか湯本と小名浜と秤にかけているように思う、青年達のそれは勿論純粋な檢討精神に違いないが、仄聞するところによると議員とか一部元老は何だか質的目方にキュウ／＼としてるとか

佐藤副団長　大してそんな風説は聞かない、只青年の場合單に明日のことばかり考へているわけでなく清澄な青空をみたい、鹿島の將來という想念の中で生きている

鈴木（二長）　合併か自立かは村で決定する問題でこゝではもっと本質的な質問による討議したい

小泉（小名）　合併問題を分科的に大別して例えば文化面、産業面、經済、原生面という見合に個々に問題を掘り下げてゆく質問をしたらどうか

四家（鹿島）　どうも矢張り舊玉川が合併した当時の反對派の動きが精神面から知り度い、その資料として反對状況だけを知らして欲しい

柳井（小名）　當時の村會は全然輿論の反映していなかった、だから抜打ち合併議決の精神を特に青年層は憎悪し、合併反對の精神より爲政者の議決態度の反感による反對も多かった

鈴木（洋）　各部落共分村の氣持の上に感情的なものが大いに動いていた、合併當時、今柳井氏が言った獨斷的な、獨裁的な行爲への反對、そうした感情的シュリが相當大きかった、その点今日迄の鹿島の動きにも多少それに似た感情的なサムシングが動いているのではないか

佐藤副団長　純農村のよさ、は舊玉川の人には判って貰えると思う、必ずしもそれが破壊されるものではないという小名浜側の説明は先般の学校座談會では一般的に理解されなかった

鈴木（二長）　生産した物は販賣されなければ經済的意義を持たぬ、純農村の在り方け近代農政面の進歩に直結することが理想である

その点鹿島側の言う純農村單獨固持説は時代錯誤ではないか

現實の問題として舊玉川と現在の鹿島を批較して貰いたい、玉川が鹿島以上の文化施設、産業施設の上に一つでも二つでも勝れたものが發見されるとしたら取りも直さずそれは玉川が鹿島より先に合併したという理由に基因した明瞭な実證ではないだろうか、然もそれは單に一、二という少数に止どまる優位性ではなくもっと澤山計上出來るのです

箱崎文化部長　最も反対した部落はどこでした

鈴木（二長）　地理的な條件などから富岡が一番反対したが皮肉にも現在一番喜んでいる

小名青年は望む

早期決斷と青年主導性の確立を

箱崎（泰）　青年が大いに輿論を喚起して婦人会、各種團体を動かし村民大會の線まで啓蒙運動を展開して欲しい

佐藤副團長　会員相互の無自覺性からたしかに泥縄式に今度の問題にもブッつかっているので、此の際大いに勉強して一歩合併問題を前進したい

箱崎（泰）　合併論者と反對派と対立しているという現象はないか

佐藤副團長　ないこともない、然しまだその線まで合併問題は燃燒していない

四家（鹿島）　然し地域的には大体決まっている、御代、船戸など全面的に小名浜合併を支持しているようだ

荒川（鹿島）　先刻自立論が若い人たちを支配して大部分是を支持しているという言葉があったが、それ程大部分の希望じゃない

赤坂　私の部落など（飯田）全面的に小名浜に動いている

橋本　私の區は鹿島隨一の大區なので合併は全員賛成しているが何れとも明瞭な線は出ていない

永山（小名）　合併問題について鹿島村議が湯本、小名浜にて暫々嚮應を受けることに對して婦人会か青年會で警告を發したという噂を耳にしたが事實か

佐藤副団長は青年會としては警告を發した事實はないと否定した、次いで小名浜側青年会員一同から

▲自立でもいゝ合併でもいゝ一本になって若し合併するなら小名浜にして貰いたい〔鈴木（二長）〕

▲早急に檢討して早く決斷して貰いたい（小湊）

▲青年獨自の線で爲政者とも青年各層ともよく檢討して貰って合併の主導性を確立して貰いたい（小泉）

等の懇請があり松本連青会長、佐藤副團長兩者を代表して挨拶、殊に鹿島佐藤副団長は更らに第二回の早急懇談を自發的に申込んで兩町村青年の間に熱意と關心は急速に上昇している

◉電話新設御知らせ◉
此の度左記の通り電話を新設致しました
電話（小名浜局）六六六番
多少に拘ず御用命下さい
敏速に配達致しまい
小林豆腐店
小名浜町古港五二

平市の各種團体を網羅
公明選擧 推進委員會發足
委員長は青山放送局長

公明選擧運動は全國的に展開されているが平市でも三十日午後一時より公会堂日本間に青年會、婦人会、教育、宗教各団体報道機関の各代表五十余名参集、平市より伊藤市選擧管理委員長、佐藤總務部長らが出席して公明選擧実施運動推進委員会を開き委員会構成について協議した結果、設備委員会に出席しない社会教育委員、勞資代表なども加えて九十一名の委員をもつて委員会を構成することになり、第一回委員会を引續き行つて規約、運動要綱を審議し役員を次の通り決定した

委員長 平放送局長青田三郎

副委員長 平市第二婦人會長鈴木ハツ子、平市連青会長草野四郎、平磐高校長野々山三郎

常任委員 平市第一婦人會長神谷コマ子、全第三婦人会長諸橋雪子、平一中校長鈴木光四郎、平三小校長新家芳美、子鍬倉神社社司山部正男、九品寺住職遠藤心光その外青年会二名、社教委員二名、労組二名、平商工会議所一名

結局「委員は選挙運動をする場合は委員を辞退しなければならない」の一項が委員会の性質上規約に付則されて委員会は成立したが、この委員会は連絡機関かまた運動主体であるか、市では公明選擧運動に予算をとるというが各團体が行つた運動經費をどこまで補助するかなどが問題となつた、なお具体的な運動方針については各種團体毎に細目に亘る具体案を持ちより決定することになつた

齋藤晃氏出馬
三區戰線異狀あり

終戰後の第一回衆議院總選擧に出馬見事に当選の榮冠を擔つた立憲養正会齋藤晃氏は、次回病魔に犯され運動に支障を來たして落選の悲運に逢い今日まで悠々自適の日を送つていたが、最近の各政黨が黨利黨略を事として眞に國内政治を省りみない現状の態度をあき足らずとし憤まんの日々を迎えていたが健康も回復しており周圍のホウはいたる懇望に押し上げられて遂に意を決し、一身を賭して今次選挙戰出馬の決意をしたと傳えられ、氏の立候補は恐らくないであらうと予想されていた三區陣營に波紋を投じ藤、高木關内 松井等の石城東部戰線に相當の影響を及ぼすものと見られるに至つた

世態漫評

スポーツと民族性

十野一也

縣体の光景である。觀衆の熱狂的應援のなかで接戰の結果敗れたソフトのチームが自席にひきあげた。と、その内二人ばかりの選手が顔を兩手でおおいながら、ボップの髪をゆすぶつて泣き出したのである。そうすると他の選手達も、なかにはほつとしたように明かるら表情の子もあつたし、氣拔けたようなぽうとした子や、はにやかみ笑いをとらえている風のもあつたのだが、とたんに、全くとたんに申しあわせたように下うつむいて泣き出してしまつた。周りを圍んでいた應援や觀衆は、これ又、むりもないとか、かわいそうにとか來年もあるんだからとかいつて、貰い泣きをしている婦人もあるのである。おや〳〵と思つていた自分まで、しまいには、何となく哀れになり、胸に迫つて來たのだからやりきれない。もつとも筆者の友人がこう語つた事がある。

某女学校を退職してその町を去る時、教えていた學級生徒が駅まで送つて來た。友人は最後尾の車輛に乗り込んで型の如く窓から顔を出して見送りの女生徒に應えていたのだが、その中誰からとなく洩らし出されたすすり泣きはまたたくまにプラットホートを白いハンカチの花園に化してしまつたというのである。友人も これ程慕われていたかと今更惜別の情にこみあげるものを抑えかねて、瞼があつくなつたのだが さて汽笛一聲れきろくと列車が動き出したとたん どうした手違いか、車輛の連結が忘れられていて、友人の乗つたのだけがポッンととり殘されてしまつた。ところがだ。あれ程身も世もなく泣いていた女學生は一度にどつと笑い出したというのである。友人ははぐらかされたような憤まんをかみ殺して此の町を去つたというのである。友人は憮然としていう。女は涙と紙一重の處に笑いを持つているんだ。と然し、こんなのとはちよつと此の選手達の場合は違うようだ。

古橋、橋爪の場合にしてもそうだ。日本人はスポーツにスポーツ以上のものを考えているのではないか。送る者は選手に國威の宣揚とか、自己のヒロイズムの満足とか、期待すべき以上の物を期待し、これが又選手に反應して負い切れない責任感と悲壯感が、明朗なるべきスポーツ精神を重苦しいものにしてしまつているのではないか。ジャーナリズムの無責任な煽り方もあるけれど、これはやはり永い間に培かわれた民族的感傷とでもいうべきだろう。もつとゆとりのあるスポーツにしないと、全体主義軍國主義への道となるおそれがある「

※

※

磐崎で料理研究會開く

磐崎村青年会家政部(部長野木ミカ子さん)では三十日午前十時より磐崎小學校に於いて料理研究會を婦人会員、女子青年会員五十余名參集のもとに開き、過般福島市に於いて行われた家政講習會に石城連合會家政部副長として出席した佐川副会長より報告あり、次いで講習を行い終了後生活改善並に迷信打破などについて懇談会を行つた

江名で食品衛生打合會

小名浜保健支所では本三日縣衛生課より木村技師を招き、魚介類加工業の食品衛生について打合会を江名町漁業協同組合階上に於いて開催する

錦中に『出戸文庫』
三年間に百冊寄贈

吾が子が世話になつている御恩返しにと中学校に中學文庫百册二萬円相当を寄附し、学校側は勿論生徒PTAより生きた教材として非常に感謝されている明るい佳話が錦町にある

話題の主は錦町中田落合で土木建築業を營んでいる出戸一雄(四二)さんで現在中學校体育後援会の理事をつとめている

出戸さんの長男富士男(一九)君は錦中學を出て目下立命舘大學附屬高等学校三年、長女久仁子(一五)さんは中学三年に在學しているが 出戸さんは昭和二十五年春錦中学校の新築落成を記念して学校圖書の充実のために毎月全町田邊書店に依頼して三、四册宛匿名にて三年間に亘つて百册を贈つたものである

また町内の生活扶助を受けている家庭の兒童に對してもノートや鉛筆などの学用品を贈り、今年の夏は綠蔭子供会を開いて子供達の不良化防止に努めるなど兒童教育に對して深い關心をもたれ學校当局及び父兄より感激されている、これについて佐川錦中學校長は次のように語つた

出戸さんの温い心には生徒は勿論、職員一同何んとお禮をいつてよいかわかりません、たゞ感謝の氣持で一ぱいです、寄贈された書籍についても學校では「出戸文庫」として活用しており、出戸さんの芳志にこたえて学校圖書の充實を圖り努力している次第です

また出戸さんは

吾が子にお父さんとんな本欲しい、あんな本買つてと催促をうけたとき、すく〳〵と育ち行く子供達のために買つてやらずにはいられない氣持になるのは子を持つ親として誰も同じです、子供達が明るく生きるために幾分でもお役に立つとすれば私は本望です

と子供達の喜んでいる姿を胸に畫いているように語つていた

(寫眞は出戸一雄氏)

佐藤所長表彰さる
職安施行五周年に

勞働省では職安所施行五周年を記念して一日、永年勤續者及び挺身盡粹者善行者等十七名を表彰したが平職業安定所長佐藤忠雄氏は挺身盡粹者として東北よりたゞ一人表彰された佐藤所長は昭和廿五年一月白河職安所長より平職安所長として赴任されたが、新任早々平自由勞組のアプレをなくせよの平職安所事件が起り勞務者の所内占據、吊し上げなど世人の注目をひき、勞働攻勢縣下一といわれた石城地区にあつてアプレ問題、雨期手当、お盆手当要求など頻發する諸問題の解決に努力されてきた

天氣豫報 3

【本日】 南寄りの風一時強く曇りで午後になつて時々俄雨がありましょう

魚菜市況 2

【小名浜中央青果市場】

鶏卵一〇～一三茄子五～一七胡瓜七～三五とまと七～九〇里芋六〇～八〇甘薯七〇～九〇大根一七～三〇南瓜一五～三六馬鈴薯二五～四〇人参六〇～一二〇玉葱四〇～六〇双豆二〇～五〇葱二三～六五丸大根一五～二五唐君三～七玉菜一一〇生姜八〇～一一〇根生姜一一〇～一四〇山和芋二二五～二三〇栗一三五～二七〇

【小名浜魚市場】

平目七〇〇そげ三四〇～三五〇もち二六〇赤井一二〇とち二七〇

電氣冷藏装置
材料新鮮
蒲燒 うな丼
生ずし 仕出し
金時
小名浜驛前
電話一二八番

労災保險指定
外科 内科 性病科 放射線科
石井醫院
小名浜町本町6) 電話472番

一級酒
醇良銘酒
清水屋酒造店 小名浜町 電話六番

經費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい

御子様へ御菓子	
動物ヨーチエン百匁	60円
ビスケット百匁	50円
學生さんへ	
上質ノート 16枚	5円
上質大學ノート	15円より
野球帽	55円より110円
赤タスキ赤白帽	15円より
御孃さん奥様へ	
夜具地 反	270円より
白牛地ヤール	55円より
化粧品御屋メヌマ ジュジュパピリオ	80円
花王洗濯石鹼徳用型	10円
御勤の皆様へ	
ネクタイYシャツ	特別奉仕
皮底サンダル	460円より
男女雨靴	650円より各種

小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

平市五丁目六番地
磐城日日新聞社平支局
支局長 熊谷四郎
岡部富彌

磐城日日新聞平專賣所
後藤新聞店
後藤幸夫
電〇〇〇

アサヒ藝能平支局
いばらき新聞平取扱所

安全なる航海は
正確なる羅針儀に依る

漁業家の皆々様愈々出漁期となりましたが羅針儀(コンパス)は正確ですか?出漁前には必ず羅針儀の検定並に自差修正(自差調整)をする様御奨め致します弊店には昨年より「コンパス」の検定並に自差修正部を新設して居りますから御利下さる様御願ひ致します

マニラロープ・綿糸漁綱・船具類在庫豊富

合資会社 小林船具店
小名濱町古港七〇
電話三七五番

店員募集
十七才ヨリ二十才位迄の男子の方(思想賢実にて可成住込希望)
御希望者は履歴書持参來店願います 委細面談の上

味噌、醤油、糀は
齋藤晃商店
小名浜町住吉
電話三二七番
◇お電話次第にて多少に拘らずお届け致します